

ハ一モ二一

♪ 2023/04/24 第3号

子にしかめやも

「^{しろかね}銀も^{くがね}金も^{たま}玉もなにせむに ^{たから}まされる宝 ^こ子にしかめやも」

意味…どんな宝物でも子どもにまさる宝はないよなあ。

(^{まん}万葉集：^{やまのうえのおくら}山上憶良)

♪ 3年生が平和講話を行いました。子どもの頃に原爆の被害を受けた生き証人である八木道子さんを長崎からお迎えして、平和についてのお話をさせていただきました。誰もが明日があることを当たり前信じて生きていた1945年8月9日11時2分、空中500メートルで炸裂した原子爆弾によって、長崎の街や人々の生活が一瞬にして奪い去られました。命からがら逃げてきた当時わずか6歳の八木さんは、焼け野原になった街を見て、「何も無くなったね」と泣きました。それでもお母さんは娘の八木さんに「街は無くなったけど、宝物が残っているよ」「宝物なんか何もないよ」「あんたたちだよ。宝物は。あんたたちが残っているからお母さんは大丈夫だよ」と言ったそうです。

♪ 戦争は弱い存在から命が奪われていきます。それが子どもたちです。子どもは宝物だと1300年前の人が歌に残しています。それなのに世界では今日も子どもが戦争の犠牲になっています。平和は黙ってじっとしていても与えられるものではないと八木さんはおっしゃっていました。私たちが平和のためにできることは何か。知識を知恵に変えていきたいと思います。

♪ みなさんは宝です。この世に生まれてきてくれただけで大人達は宝物を手に入れているのです。これからも大切に大事にされますように。私たちもそのような大人でありたいです。

